

# みやづ経済ダイジェスト (NO.42)

令和2年3月  
宮津商工会議所

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種100社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計を行っております。

【調査期間】令和2年1月～2月

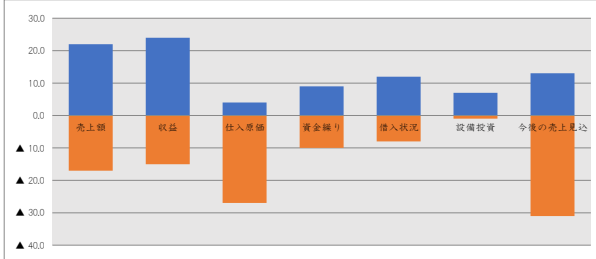
【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計100社を対象にアンケートを実施。(回答企業数50社)

【D値の算出方法】①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少等=▲0.5、⑤かなり減少等=▲1とし、(①+②) / 全体数×100 - (④+⑤) / 全体数×100でD値を算出する。

※選択肢の目安：「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

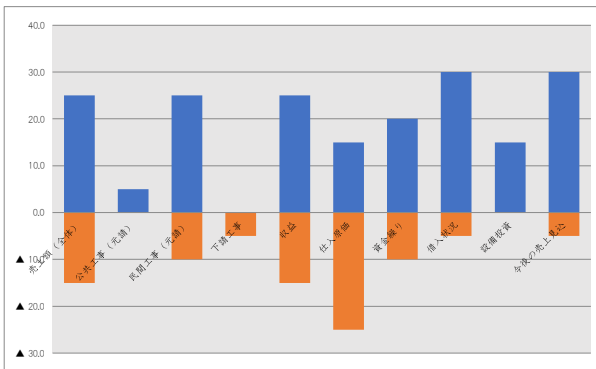
問1 今期の貴社の状況は、昨年の同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		D値
売上額	増加	2	18	16	11	3	減少	5.0
収益	増加	3	18	16	11	2	減少	9.0
仕入原価	低下	0	4	23	19	4	上昇	▲23.0
資金繰り	好転	1	7	33	8	1	悪化	▲1.0
借入状況	減少	1	10	32	6	1	増加	4.0
設備投資	低下	1	5	43	1	0	上昇	6.0
今後の売上見込	増加	2	9	13	21	5	減少	▲18.0



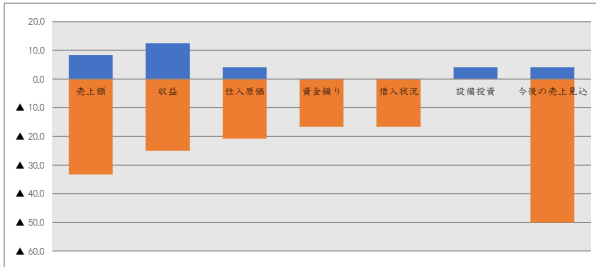
全体的な状況は業種ごとに大きく差がある結果となったが、観光サービス業を中心に売上額が増加しており、全体合計のD値は+5.0ポイントの増加、収益についても+9.0ポイントの増加となった。新型コロナウイルスの影響により今後の売上見込は減少を見込む企業が多くD値▲18.0ポイントとなった。

建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D値
売上額(全体)	増加	0	5	2	3	0	減少	10.0
公共工事(元請)	増加	0	1	9	0	0	減少	5.0
民間工事(元請)	増加	0	5	3	2	0	減少	15.0
下請工事	増加	0	0	9	1	0	減少	▲5.0
収益	増加	0	5	2	3	0	減少	10.0
仕入原価	低下	0	3	4	1	2	上昇	▲10.0
資金繰り	好転	1	2	5	2	0	悪化	10.0
借入状況	減少	1	4	4	1	0	増加	25.0
設備投資	低下	0	3	7	0	0	上昇	15.0
今後の売上見込	増加	1	4	4	1	0	減少	25.0



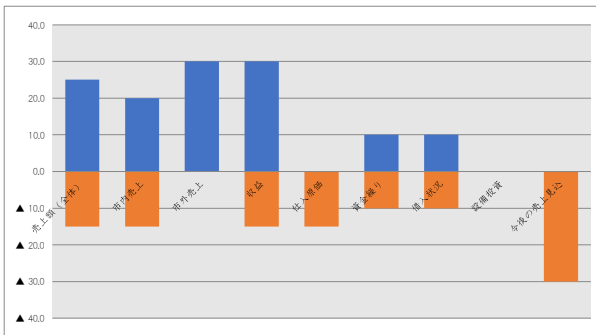
建設業は公共工事、民間工事ともに増加し、売上額(全体)のD値が+10.0ポイントと増加、借入状況も+25.0ポイントと大きく好転した。今後の売上見込についても増加を見込む企業が多く、+25.0ポイントの増加となっている。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D値
売上額	増加	0	2	5	2	3	減少	▲25.0
収益	増加	0	3	5	2	2	減少	▲12.5
仕入原価	低下	0	1	6	5	0	上昇	▲16.7
資金繰り	好転	0	0	9	2	1	悪化	▲16.7
借入状況	減少	0	0	9	2	1	増加	▲16.7
設備投資	低下	0	1	11	0	0	上昇	4.2
今後の売上見込	増加	0	1	1	8	2	減少	▲45.8



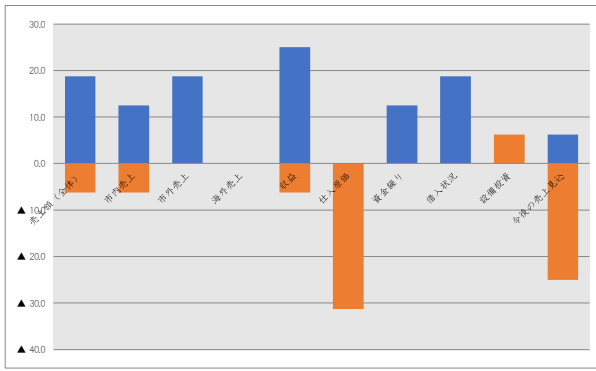
小売業は全体的に低調が続いており、売上額のD値が▲25.0ポイントと大きく減少した他、大半の項目で減少の回答が目立つ結果となった。今後の売上見込についても新型コロナウイルスの影響を懸念する企業が多く、▲45.8ポイントと大きく減少した。

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D値
売上額(全体)	増加	1	3	3	3	0	減少	10.0
市内売上	増加	0	4	3	3	0	減少	5.0
市外売上	増加	2	2	6	0	0	減少	30.0
収益	増加	2	2	3	3	0	減少	15.0
仕入原価	低下	0	0	7	3	0	上昇	▲15.0
資金繰り	好転	0	2	6	2	0	悪化	0.0
借入状況	減少	0	2	6	2	0	増加	0.0
設備投資	低下	0	0	10	0	0	上昇	0.0
今後の売上見込	増加	0	0	4	6	0	減少	▲30.0



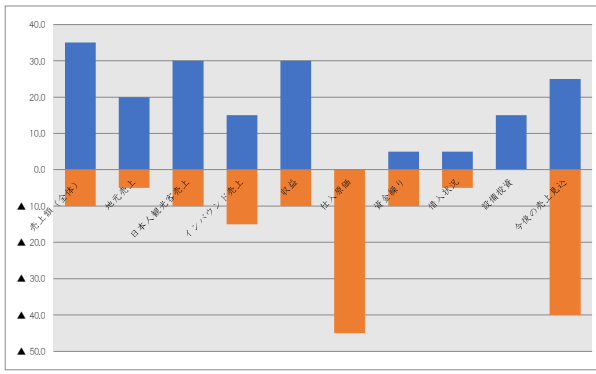
卸売業は市外売上のD値が+30.0ポイントと大きく増加したことにより全体的な売上額も+10.0ポイントと増加したが、今後の売上見込に関しては、小売業と同様に、新型コロナウイルスの影響で取引先の売上が減少することによる卸売減少を懸念する声が多く聞かれた。

製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	3	4	1	0	減少	12.5
市内売上	増加	0	2	5	1	0	減少	6.3
市外売上	増加	0	3	5	0	0	減少	18.8
海外売上	増加	0	0	8	0	0	減少	0.0
収益	増加	0	4	3	1	0	減少	18.8
仕入原価	低下	0	0	3	5	0	上昇	▲ 31.3
資金繰り	好転	0	2	6	0	0	悪化	12.5
借入状況	減少	0	3	5	0	0	増加	18.8
設備投資	低下	0	0	7	1	0	上昇	▲ 6.3
今後の売上見込	増加	0	1	3	4	0	減少	▲ 18.8



今期の製造業は市内売上のDI値が+6.3ポイント、市外売上が+18.8ポイントと増加し、収益についても+18.8ポイントと、前年同期から大きく回復した。経営上の問題点としては受注増加による人手不足を挙げる企業が多く見られた。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	5	2	2	0	減少	25.0
地元売上	増加	0	4	5	1	0	減少	15.0
日本人観光客売上	増加	1	4	3	2	0	減少	20.0
インバウンド売上	増加	1	1	6	1	1	減少	0.0
収益	増加	1	4	3	2	0	減少	20.0
仕入原価	低下	0	0	3	5	2	上昇	▲ 45.0
資金繰り	好転	0	1	7	2	0	悪化	▲ 5.0
借入状況	減少	0	1	8	1	0	増加	0.0
設備投資	低下	1	1	8	0	0	上昇	15.0
今後の売上見込	増加	1	3	1	2	3	減少	▲ 15.0



観光サービス業は、1~2月期においては暖冬の好影響により全体的な売上額が+25.0ポイントと大きく増加する結果となった。今後の売上見込については、新型コロナウイルスの影響により大きく減少することを見込む企業が多い中、国内観光客を中心に増加を見込む回答も

## 問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①売上減少	2	4	2	2	5	15
②人手不足	7	4	2	6	3	22
③採算の悪化	1	1	0	1	0	3
④仕入価格の上昇	2	2	3	2	2	11
⑤後継者問題	1	3	1	0	1	6
⑥資金繰りの悪化	1	2	0	0	1	4
⑦その他	0	0	0	1	0	1

※その他：事業主高齢化による作業への影響（製造業）

## 問3 当面の重点経営施策についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①経費の節減	3	3	4	5	3	18
②人材の確保	6	4	2	6	2	20
③販路拡大	1	6	3	3	5	18
④設備投資	1	1	0	0	1	3
⑤事業計画策定	0	0	0	0	0	0
⑥業務の効率化	0	0	0	0	1	1
⑦その他	0	0	0	0	0	0

ご協力頂きました事業所様、ありがとうございました。